
野党はオルタナティブを提示できるか 路上から議会へ

立憲フォーラム・戦争をさせない1000人委員会 共催

さあ、安倍政治を終らせよう 10.19 院内集会

10月19日（月）午後5時 ～参議院議員会館 講堂

講師：中野晃一（上智大学教授）

講師の中野晃一上智大教授は、この間の国会包囲行動などに参加を続けた行動する政治学者です。10月2日の日比谷野音での集会で、こうした直接行動がどのような意味を持つか、アメリカでの4年前のオキュパイ運動に触れてこう発言しました。

「あれは、その後どうなったんだ。あんなに集まったのに意味が無かったんじゃないかと冷笑する人もいます。もっと勉強しろと言ってやってください。なぜか。今、ヒラリー・クリントンに差をつけるほどの勢いの民主党の候補、大統領選で頑張っているバーニー・サンダースという米国では極めて珍しい、社会主義者を自称する候補者がいます。その人を支えているのはまさにオキュパイ運動で集まった人たちだったんです」

「私たちの旗頭はなにか。私は、これは個人の尊厳、人間の尊厳を求める闘いだと思います。私たちの生活、私たちのちっぽけかもしれない、しかし尊い命。その尊厳を守るための闘いだ、というふうに私は考えています。野党の共闘にも、ぜひ旗幟を明らかにさせようじゃありませんか。どっち側につくんだ？ 国家権力の暴走に組みするのか？ それとも個人の尊厳を守る私たち個々人の連帯の側に来るのか？ はっきりさせようじゃありませんか。」

中野さんに「野党はオルタナティブを提示できるか—路上から議会へ」についてじっくりとお話いただきます。どうぞ、ご参加ください。

◆次回予告「安保法で自衛隊はどう変わるのか」

11月19日（木）午後5時～ 参議院議員会館 講堂

講師：半田滋（東京新聞論説・編集委員）

入場は無料。お問い合わせは江崎孝参院事務所（03-6550-0511、参 - 511）

※立憲フォーラムからのメール情報をご希望の方は、rikken96@gmail.com までメール下さい。